

福祉未来価値創造大賞2020プロジェクト



#産福学連携 #工賃とやりがい向上 #ソーシャルビジネス創造

目的

関西の福祉事業所、企業、NPOとともに、商学部の横山ゼミと細見ゼミの3年生、計33名が、働く障がい者の工賃やモチベーション向上、企業のSDGsへの取り組みの推進といったことを目指して、福祉未来価値創造大賞2020(主催:NPO法人Deep People)の企画に挑戦した



活動の概要

- **主な連携先**
NPO法人Deep People / 社会福祉法人 青葉仁会 / あゆみ工房 / 就労継続支援B型事業所 三休 / 縁樹の糸プロジェクト / JAMMIN合同会社
- **活動地域**
関西地域
- **活動期間**
2020年度
- **活動資金**
なし

連携にいたる経緯

福祉未来価値創造大賞は、福祉事業所と企業の協働を推進して、付加価値の高い、新しい取り組み(ソーシャルビジネス)を生み出すことを目的に開催されている。2020年度は、横山ゼミと細見ゼミが全面参加する新しい枠組みで動き出した。特に、「with コロナ」の厳しい状況下だからこそ、「新型コロナウイルスに打ち勝とう」をスローガンに、新たな商品・サービスを生み出すため、福祉事業所・企業・NPO・大学が連携した「福・産・N・学」のコラボ・プロジェクトとなった。



活動内容

学生たちはグループに分かれて、ソーシャルビジネスの企画案をつくり、福祉事業所や企業・NPOの方々に披露。それらをもとに継続的に、福・産・N・学のオンライン打ち合わせが行われ、6つのプロジェクトが実現に向けて動いた。その結果、「バーチャル背景ギャラリー」や、「縁樹の糸 森をまとうマスク」の企画が実現した。これらのプロセスと成果について、学生達は成果報告プレゼンテーションにまとめ上げ、11月20日(金)に開催された「福祉未来価値創造大賞2020(主催:NPO法人Deep People)」で発表。ソーシャルビジネスプラン部門大阪府知事賞大賞などを受賞した。

活動の成果

- 福祉の現状を理解して、ソーシャルビジネス企画を創造することができた
- いくつかのプロジェクトは企画に留まらずに、事業化することができた

今後の課題・目標・展開の可能性

- 学生との共同調査(若年層にとっての魅力や働きやすさを高める条件)に協力して頂ける企業・事業所と連携していくこと

連携先からの一言

これまでの福祉事業所と企業の協働に、新たに学生が参画してくれたことで、事業所も企業もモチベーションが高まり、学生らしい着眼点で新たな提案が出されたので、福・産・N・学の協働の可能性が広がりました。
(NPO法人Deep People)

商学部 教授 横山 恵子 Yokoyama Keiko



調査現場において、既存の枠を打破して新価値創造に果敢に取り組む人々と触れあう中、アントレプレナーシップという生き方に魅せられるようになり、「ソーシャル・アントレプレナーシップと協働」を研究・教育活動の中核に置く。



商学部 准教授 細見 正樹 Hosomi Masaki



ワーク・ライフ・バランスやテレワークを研究。ゼミでは、質問紙調査やビジネスプラン作成等により、学生が将来のキャリアを考える場づくりをしている。

